

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			個別スペースやクールダウンできる部屋を設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			個別支援が必要な利用者に対しては、1対1の対応を行なっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			月1回スタッフ会議で通常の議題に加えて日頃のスタッフ自身の業務に関して振り返る時間(フリートーク)を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			<input type="radio"/>	ホームページにて公開できるように準備中です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者評価については、受審する方向で時期について検討中です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部研修に積極的に参加しています。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	アセスメントツールは使用しておらず、今後の課題です。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月、活動カレンダーを作成し活動を行なっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			週ごとの活動プログラムを立案したり、季節ごとに楽しめる活動を考えています。また、夏休み等の長期休暇時は特別プログラムを行ないます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			子どもの年齢や障がい特性に応じた支援に心がけています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			些細な事故やトラブル等「ヒヤリハット報告」を口頭、文書でスタッフ間で共有して事故の未然防止を図っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		その都度記録をとっています。支援の検証や改善につなげられるようにシステム化に向けて準備中です。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか			○	ガイドラインの総則として組み合わせていません。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				ニーズはあるものの職員体制等が整わないため今後の課題です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修に参加できるように心がけています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流の機会は設けていません。今後は地域の子ども達と一緒に活動する機会（「魚のつかみ取り」等）を設けていけるよう検討中です。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			「こども部会」に参画しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			年2回は保護者と懇談会を実施しています。その他必要に応じて子どもに関わる保護者の不安等について話しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現在は、行なっていません。
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年3回、親子レクリエーションを開催し利用者ご家族との交流の場を設けています。

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			毎月のスタッフ会議で共有している他に長野ブロック事業所代表者会議でも共有し、他事業所スタッフから助言をしてもらったり、年度ごとの第三者委員への報告会にも事案を紹介して第三者委員から助言等を得ています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、『ふりだより』を発行し日頃の活動の様子をお知らせしています。写真を多く掲載しているので好評です。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は実施していません。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回、避難訓練を行なっています。また避難場所の確認等も行なっています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年3回、スタッフ会議の中で虐待研修を実施しています。研修の中で事例検討等も行なっています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	利用時に支援方法等について保護者に確認をさせていただいていますが記載事項に具体的に記載していないため確認が必要と認識しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からお話をお聞きし対応しています。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	記録を残し、スタッフ会議等で共有・検討し再発防止に努めていますが事例集の作成までに至っていません。	